

富岡地域づくり 協議会だより



第29号

令和6年2月12日

広報委員会

<https://www.town-tomioka.click/>

富岡地区文化祭が開催されました



令和5年11月18日(土)・19日(日)の2日間、富岡まちづくりセンターにて、富岡地区文化祭が開催されました。

天高く馬肥ゆる秋・読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋・行楽の秋・食欲の秋・・・等々と称されて、様々な活動・行動等に適した秋。その秋がもっと豊かになる美しい日本語も見つかりました。「秋高し」「錦秋(きんしゅう)」「秋麗(あきうらら)(しゅうれい)」「秋入梅(あきついでり)」「山粧(やまよそおう)」等々です。



そういえば、11月3日は、『文化の日』という祝日でした。『国民の祝日に関する法律』には、「文化の日 十一月三日 自由と平和を愛し、文化をすすめる。」という規定がありました。

「文化をすすめる」イベントとして、この富岡地区文化祭も当然該当するものであると思います。昨年、3年ぶりに再開となった本催しも前進的で未来展望的な事業であり、また、そうあるべきことが望まれ・期待されるものかもしれません。これが「すすめる」の謂なのかとも思いました。このことにより、本事業は我々にとって意味深く、有意義な事業のひとつといえるのかもしれません。



さて、本年度も各サークル・団体等による作品展示及び活動報告、芸能音楽発表会、図書館富岡分館によるリサイクルブック市及びスペシャルおはなし会、翠松会によるお茶会、おっぺすとみおかによる紙芝居大会、そして、血圧測定・健康相談、こどもコーナー、模擬店等をその内容とするイベントが行われました。多岐に亘る内容は、富岡地区の文化活動の広汎さと充実度を物語るものといえます。



当日は、両日とも天気にも恵まれて、2000人を超える参加者がありました。いかにこの催しに関心があり、また興味を持って意欲的に参加いただいているかが窺い知れるということです。また、見学にきていただいた方の興味深さや関心度の高さも確認・実感できました。中には、作者に対して、その作品について質問したり、技術を教わったりと、熱心に話しかけている様子も窺えました。

作品や芸能音楽等を身近に拝見できること、状況によっては、作者や演技者に直接話しかけ

られること等は、こうした催しの醍醐味でもあると思います。こうした機会が地元の事業としてあることが有意義なことであると思います。

ところで、富岡地区文化祭は、文字通り富岡地区の文化を示すバロメーター的な事業でもあるといえます。各サークル・団体が、年間を通して活動してきた成果を発表できる機会でもあります。積年の成果を感じるものも多くありました。また、個人の卓越した美的感覚やセンスを、また、技能及びスキル等を実感できるものもたくさんみうけられました。切磋琢磨の賜といえそうです。同時に、地域にある施設や事業所、養護老人ホーム・デイサービスセンター等の活動紹介の場及び機会にもなります。

みる側からすると、一堂に会した作品展示や各サークルや団体の発表や活動報告等を一会場で、幅広くみたり聞いたりできる大事な機会でもあります。こうした機会を大事にし、富岡地区の文化の向上及び発展・充実のため、今まで以上のご支援・ご協力を賜りたいと存じます。

結びに、富岡地区文化祭の開催にあたり、運営及び実施に関わっていただきました皆様、また、見学においていただきました大勢の皆様、本当にありがとうございました。



<編集後記>

みかんの実が、色鮮やかになっていました。緑の葉と橙の実のコントラストも印象的です。

ここ数年、近隣の家の庭にみかんの実がなっているのをみかけます。みかんといえば、愛媛・和歌山・静岡が思い浮かびました。みかんの出荷量を調べてみると、令和3年度の統計では、67万6900トンだそうです。何を基準にすべきか検討がつかないので、個人的には相当の量としか判断できません。ところで、先の3県に加えて熊本・長崎の5県で、全国の約7割が収穫されるそうです。よくよくみとみると、いずれも関東より西の、どちらかというとき温かい地方だといえそうです。これらから、みかんの産地には北限があるのかなと思っていました。

それが、この辺りでもみられるようになったということは、関東それも埼玉や東京等もみかんの実ができるほど温かくなっているのかなと解釈できそうです。暖流に近い千葉県のある場所で、冬に夏みかんをみた記憶があるのですが、何でこの辺ではみかんはならないのかと思ったことを思い出しました。冬の風物詩でもあるみかんがこの辺でもできないものかなと子ども心に思ったことからの発想なのです。

なるほど、温室効果ガスの影響で地球温暖化がさげばれており、それによって、この辺りも当時よりは温かくなっていると考えれば理解できそうです。つまり、みかんに適した気候になったといえるのではないかと。そう考えれば自然かなと思ってきました。

最近目にするようになった近隣のみかんの実から、ふと思うことがあったというたわいもない話です。